

# 令和6(2024)年度 田原市内における社会経済動向の基礎分析調査業務 実施概要 (田原市 委託事業)

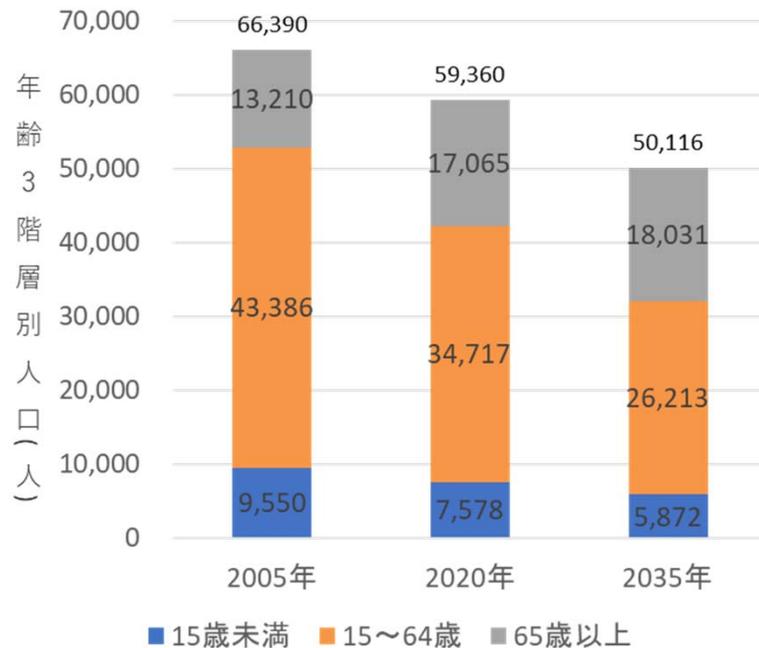
## 1. 業務の目的

商業を中心とした田原市内産業の現状把握、産業の課題整理を目的として、田原市の産業経済を取り巻く状況について調査した。主な調査項目は以下の通りである。

- ①人口や就業の動向
- ②市内全般の産業経済情報整理
- ③産業別の産業動向

## 2. 調査結果(一部抜粋)

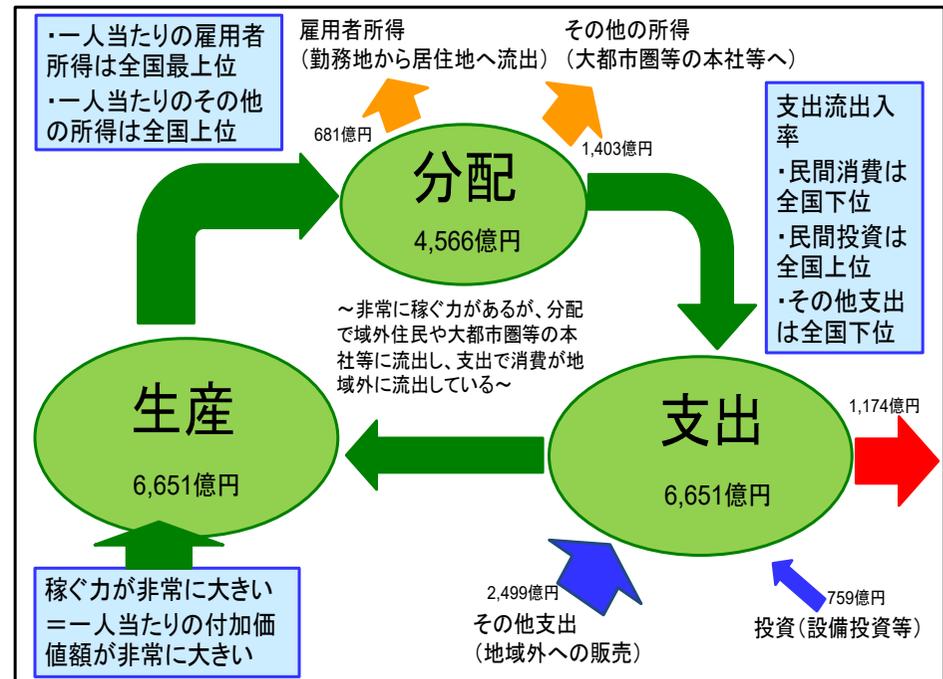
### 【年齢3階級別人口推移】



- 田原市人口総数は2005年の66,390人をピークに減少しており、2020年は59,360人となっており、2035年の推計は50,116人となる見込みである。
- 産業にとって重要な人口指標となる生産年齢人口においても、2005年の43,386人をピークに減少しており、2020年は34,717人となっており、2035年推計は26,213人となる見込みである。

### 【産業に係る統計等の分析(地域経済循環)】

※田原市の地域経済循環率は2018年時点で145.7%



- 生産面: 第二次産業における稼ぐ力が全国的に見ても高い。
- 分配面: 雇用者所得、民間・公共ベース所得が域外へ流出しているが、一人当たりの雇用者所得は全国的に見ても高い。
- 支出面: 個人が得た所得は地域外で消費することで流出しているが、地域外からの設備投資やサービス販売による所得流入の方が大きく、その分地域内企業への生産に繋がっている。